

スタービレッジアストロノミーキャンプ (SVAC) 2025年度 成果報告

～「関西で一番星に近い村」から、未来の宇宙人材を育成する官学民連携の挑戦～



SVACの目指すもの 教育格差の解消/宇宙人材の育成/アストロツーリズムの推進

① 背景：奈良県東部南部地域へ宇宙への扉を開く！

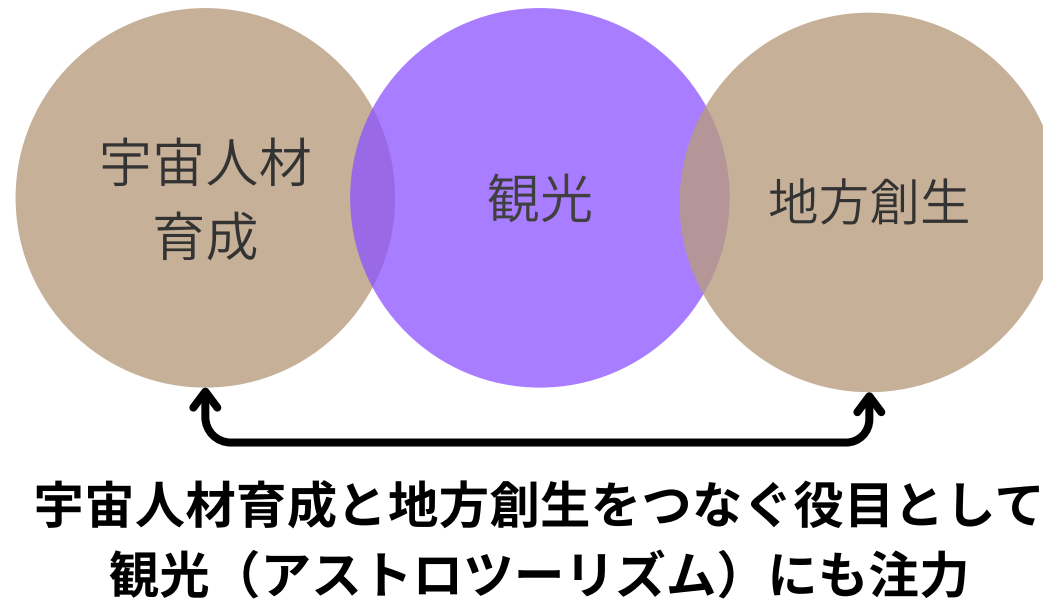
豊かな歴史を持つ奈良県ですが、公開天文台や科学館が少なく、子供たちが宇宙に触れる場所や機会が不足しています。この現状を打破するため、上北山村の「満天の星空」という資源を活かし、次世代へ夢と科学への興味を育む場としてSVACは企画されました。また本イベントは学びと観光を融合し、将来的に上北山村をはじめとした奈良県東部南部地域への継続的な誘客につなげ、地域に貢献することを目指しています。

奈良県・上北山村

奈良教育大学
講義協力の先生方

民間教育団体など

地元企業
教育業界
宇宙関連企業など



② SVACの目指すビジョン

1.教育機会の創出と環境

特に山間部の子どもたちが、地理的制約に関わらず最先端の科学に触れられる機会を創出します。県内の天文・宇宙分野の学習環境を底上げし、地域全体の科学リテラシー向上を目指します。

2.未来の宇宙人材の育成

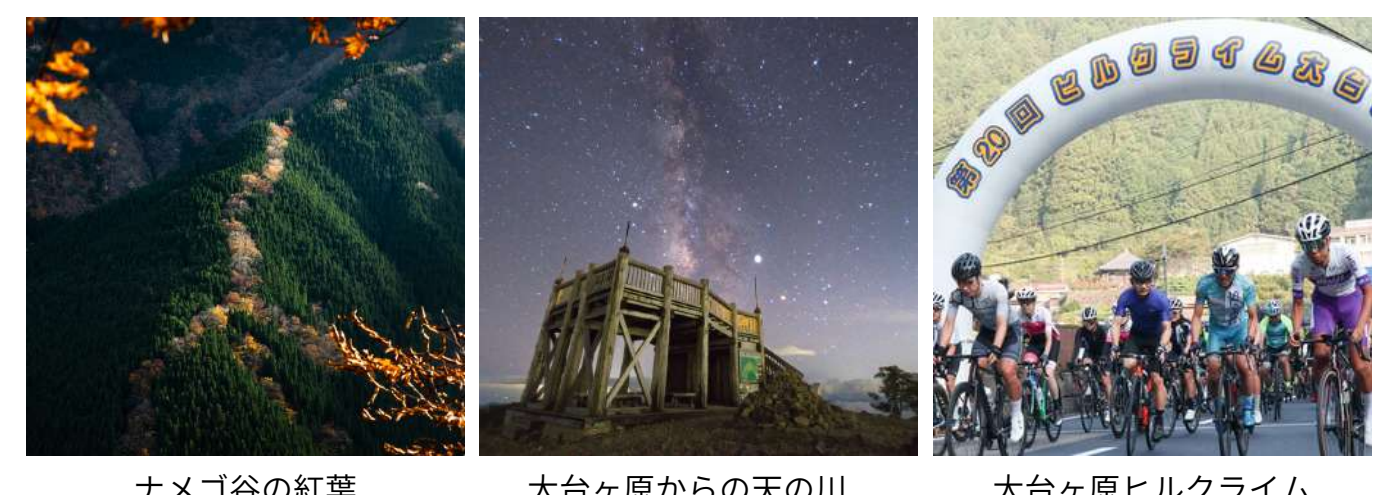
第一線で活躍する研究者との直接対話を通じて、次世代の宇宙開発を担う高い志を持った人材を育む土壌を作ります。

3.地域創生とアストロツーリズムの推進

上北山村への誘客を促進し、星空を核とした新しい観光コンテンツを確立することで、持続可能な地域振興モデルを構築します。

「森と生き 星と眠る村」上北山村

奈良県南東部、まさに「近畿の屋根」の懷に抱かれた上北山村は、97%を占める深い森と、そこから流れ出す清流に囲まれ、都会の喧騒を忘れ、満天の星とともに眠りにつく贅沢な時間が流れる場所です。



アクセス

- 奈良市内から（約2時間～2時間半）
国道169号を南下
- 大阪方面から（約2時間半）
南阪奈道路経由、R169を南下
- 名古屋方面から（約3時間）
名阪国道「針IC」からR169経由
または紀勢道「尾鷲北IC」よりR425経由

SVAC実行委員会について

主な活動履歴

2024年8月2日	ブレイント開催
2024年11月1日	スタービレッジアストロノミーキャンプ実行委員会 設立
2025年2月1日	SVACのHP開設
2025年4月1日	「子どもゆめ基金」採択決定
2025年6月23日	SVAC開催のプレスリリース発表
2025年7月29～31日	スタービレッジアストロノミーキャンプ2025開催

実行委員会メンバー

※2026年2月1日現在

委員長	太田原 章巨（合同会社ウンチュク 代表社員）
理事	信川 正順（奈良教育大学 教授）
監事	遠藤 学（上北山村役場 企画政策課）

事務局メンバー

※2025年10月1日時点

太田原 章巨	合同会社ウンチュク 代表社員
久米 毅	上北山村役場 企画政策課
松坂 伶	東京大学 博士後期課程2年
村越 麻友	青山学院大学 博士後期課程2年
盛 顕捷	理化学研究所 基礎科学特別研究員

SVACの協力団体

協賛	上北山村 合同会社ウンチュク
後援	奈良教育大学 奈良県教育委員会 上北山村教育委員会 一般社団法人ツーリズムかみきた

ご協力いただいた講師の皆様

※五十音順

井阪 あゆみ 井上 真求 上村 剛史 大田 友篤 小木曾 望 佐藤 祐介 鈴木 寛大 盛 顕捷 田間 豊常 段野 伸之 土井 正治 信川 正順 橋本 文彦 松井 瀬奈 松坂 伶 村越 麻友 山敷 達也 山敷 愛使	星のソムリエ機構理事 ちはや星と自然のミュージアム解説員 ピアニスト 京都女子大学 発達教育学部 講師 同志社国際中学校高等学校 嘱託講師 第46次日本南極地域観測隊 元テラススペース 開発部 大阪公立大学 教授 和歌山大学 教養教育部門 講師 宮崎大学 工学教育研究部 助教授 理化学研究所 玉川高エネルギー宇宙物理学研究室 基礎科学特別研究員 宇宙科学教育研究所 代表 星空案内人 ほしの学校★大阪 NPO法人ダジック・アース・プロジェクト 理事 事務局長 奈良教育大学 理科教育講座 教授 大阪公立大学 教授 名古屋大学 博士後期課程3年 東京大学 理学系研究科 天文学専攻 博士後期課程2年 青山学院大学 理工学研究科 理工学専攻 博士後期課程2年 星空案内人 ほしの学校★大阪 奈良女子大学 博士後期課程2年
---	--

講師の皆様の所属団体

奈良教育大学・奈良女子大学・大阪公立大学・宮崎大学
和歌山大学・京都女子大学・名古屋大学東京大学・青山学院大学
同志社国際中学校高等学校

理化学研究所・NPO法人ダジックアースプロジェクト
宇宙科学教育研究所・星のソムリエ機構・ほしの学校★大阪

18名の講師陣による28の講座を用意。
うち20講座を開催。92名が受講。



受講者には修了証書を発行。
参加の思い出としてだけではなく、講師の方々との繋がりを感じて頂くことで、進路や将来の参考になればという思いも込めている。

講義・ワークショップの様子



2025年度の広報活動

プレスリリース
PRTIMES→6/23出稿 ※6/23～7/31までのデータ

- ページビュー：812
- 訪問者数：809
- 転載サイト：31

投げ込み
・奈良県庁記者クラブ（17）
・奈良県庁記者クラブ教育系（15）
DM（418）

- 奈良県内の全高等学校（45）
- 大阪府の私立中学校高等学校（95）
- 京都府の私立中学校高等学校（41）
- 兵庫県私立中学校高等学校（54）
- 和歌山県私立中学校高等学校（9）
- 滋賀県私立中学校高等学校（11）
- 三重県私立中学校高等学校（20）
- 愛知県私立中学校高等学校（56）
- 関西・中京エリアの高専（13）
- 北陸・東海・関西・中国・四国の天文台およびプラネタリウム（74）

SNS ※2026/1/23現在
・Instagram：フォロワー91、フォロー127、投稿数15
・X：フォロワー28、フォロー470、投稿数29

- イベント告知サイト投稿
- Pealex（ピーティックス）
 - いこーよ
 - ジモティー
 - ウォーカープラス
 - パリユープラス
 - 奈良スーパーアプリ
 - ならいこ

メディア掲載
・マイタウン奈良 7/5号
・JAF(web版)
・奈良新聞 7/30

- チラシ配置
- 第53回 近畿科学教育研究会
 - 近鉄駅構内（沿線主要駅10駅にて実施）
 - 奈良県立図書館情報館
 - 橿原市立こども科学館
 - 五條市図書館
 - 桜井市図書館
 - 天理市図書館
 - 明日香村図書室
 - 大和郡山市図書館
 - きつぷろ科学館ふおとん
 - 文化バルク城陽
 - JAならけんまほろばキッチン内観光案内所
 - 奈良県立教育研究所
 - 奈良教育大学附属小学校
 - 川上総合センター やまぶきホール
 - 下市町役場
 - クロスボット大淀
 - 一般財団法人 かわかみ源流ツーリズム
 - 道の駅吉野路大淀センター
 - KITO FOREST MARKET SHIMOICHI

- 校長会
- 奈良県中学校長会（6/5、101校）
 - 奈良県小学校長会（6/10、187校）

- 広報制作物
- イベントのチラシ
 - HP
 - Instagram
 - X



課題(反省点)

- 広報活動の始動が遅すぎた（本格的な始動は6月以降）
- イベント内容が決定するのが遅かった（講師と講義内容の決定）
- 学校の夏休み合宿などは前年度に決まるので、予定が既に決定していた。
- DMなど送付のみで丁寧な対応ができなかった。
- 取り扱って頂いたメディアへの露出度が低かった。（メディアへの営業活動不足）
- 天文・科学系雑誌やメディアへの働きかけ不足。
- SNSの積極利用ができなかった。（Vチューバーなどへの働きかけも必要）

アンケート集計

2種類のアンケートを実施

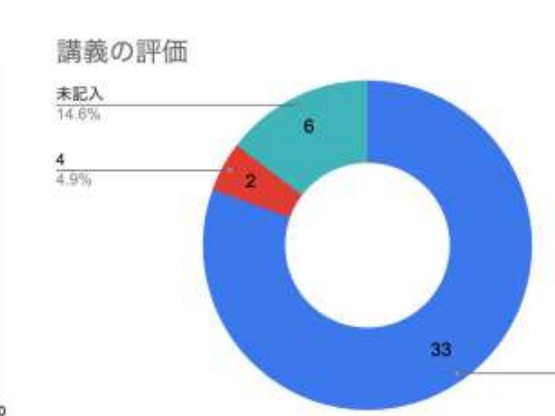
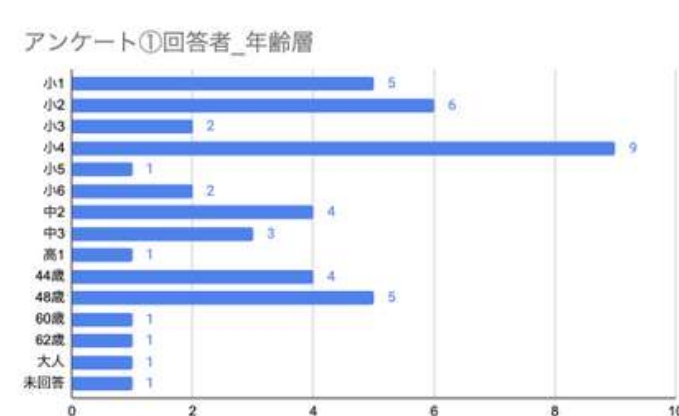
講義に関するアンケート

回答数：41

設問数：7

【設問】

- ①年齢（学年）
- ②参加した講義（選択式）
- ③講義の評価（5段階評価）
- ④講義の先生への感想や質問、コメント（自由記述）
- ⑤SVACは何で知っていただきましたか？（選択式）
- ⑥受講された感想をご記入ください。（自由記述）
- ⑦自由記入欄（自由記述）



講義の評価の平均値が4.94ということや、アンケート全体を通して、参加者の満足度は非常に高いことが伺えます。特に、講義内容の楽しさや講師の教え方に対するポジティブな意見が多数を占めていました。
全体の評価はこちらのアンケートでも4.63と高い評価。
評価5：5件（62.5%）
評価4：3件（37.5%）
評価未記入：0件

【総括】

今回のイベントは、専門的な内容を誰もが楽しめる形で提供したこと、そして参加しやすい価格設定により、参加者から高い支持を得られた。
価格については2025年度は500円で実施したが、1000円くらいまで上がっても参加するという声も多く、価格改定を検討する余地が十分にあると考えられる。
参加者の多くが来年の開催を熱望しており、非常にロイヤリティの高いイベントとなっている。
次回開催に向けては、複数受講の割引や食事や宿泊情報の提供と、宿泊プランとセットした販売や、星空観覧やキャンプ場での開催などの付加価値を高めるサービスの要望が上がっており、宿泊や食事などでの上北山村への経済効果も期待できる。
またより多くの人へ情報を届けるための早期の広報活動ができるようなスケジューリングと運営体制は必須。

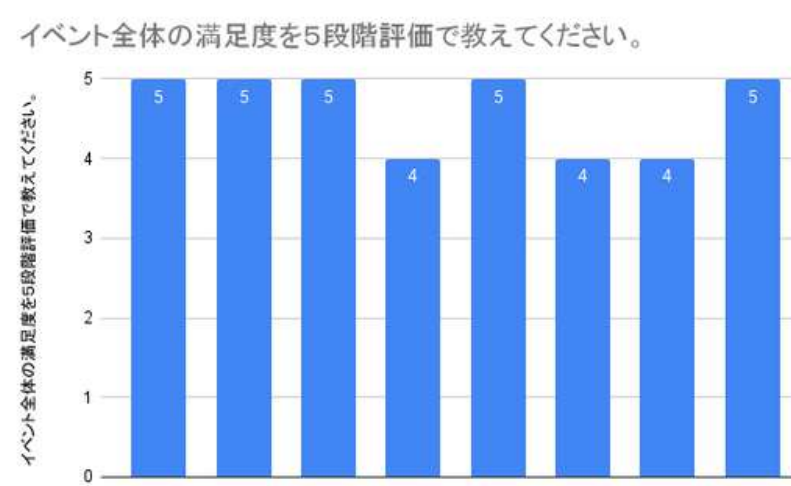
イベント全体に関するアンケート

回答数：8

設問数：14

【設問】

- 1.年齢（学年）
- 2.イベント全体の満足度を5段階評価で教えてください。（5段階評価）
- 3.イベント全体を通して良かった点・悪かった点（自由記述）
- 4.今回のSVACで一番参加したかった講義（選択式）
- 5.次回以降、どんな講義があれば参加したいか？（自由記述）
- 6.受講された講義の数（自由記述）
- 7.SVACを知ったきっかけは何ですか？（選択式）
- 8.SVACに参加した理由を教えてください。（自由記述）
- 9.受講料について適正な価格（自由記述）
- 10.受講料について（自由記述）
- 11.その他、要望や期待される事（自由記述）



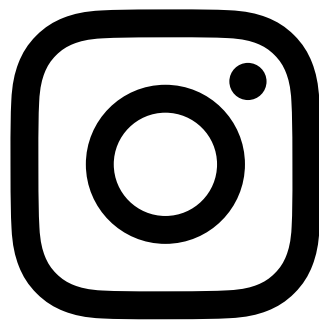
全体の評価はこちらのアンケートでも4.63と高い評価。
評価5：5件（62.5%）
評価4：3件（37.5%）
評価未記入：0件



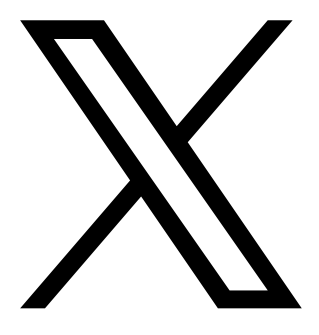
スタービレッジアストロノミーキャンプ実行委員会

<https://svac2024.studio.site>

svacsince2024@gmail.com ※お問合せはメールまたはHPから



@svac.2024



@svac2024